

新堀製作所（新堀寛社長、埼玉県日高市）は、独自の生産技術を用いたエキゾーストパイプの需要開拓を図る。プレスマシンを用いたパイプ加工の手法を柱に、優れた生産性とコストの安さを訴求していく。自動車メーカーや一次サプライヤーに向けて試作品の開発などを打診

新堀製作所

し、品質の高さを実証することで採用車種の拡大を目指す。

排気系統のパイプ部品はベンダー（曲げ）加工を行うのが一般的だが、ベンダー機を用いると施工の際に部品を固定するための端材が生じるデメリットがある。そこで、同社では2年前にプレス加工でテールパイプを製造する技術を開発した。クラ

エキゾーストパイプを プレス加工 複雑な形状も再現

ンクプレスと数種類の金型を用いることで、曲面の複雑な形状なども細かく再現する。加工時に部材の無駄がほとんど発生し



プレス加工で成形した
テールパイプ

ないことから、ベンダー加工に比べて生産コストを3割程削減できるという。プレス工程ごとに複数の金型を準備する必要があるため、生産ラインを構築するまでに一定の設備負担は要するが、量産体制を整えれば大幅なコストダウンに直結する。

現在はホンダ「CR-V」向けにステンレス製のテールパイプを供給しており、月間の生産量は約1500個。既存ラインでも増産に対する余力は十分だが、将来的に需要が増えれば能力を増強する計画だ。昨今の円安で国内での部品生産が見直されていることから、関係メーカーに積極的な提案を行っている。

量産でコスト3割減